

野上ため池マップ・浸水想定区域図作成
委託業務

仕 様 書

勝 浦 町

1 業務目的

今後発生が予想される東南海・南海地震等の大規模災害により、ため池が決壊した場合のために、農業用ため池の基本情報を記載した地図(ため池マップ)を作成し、住民に周知することを目的とする。また、ため池が決壊した場合の氾濫解析を行い、この結果をもとに浸水想定区域図を作成する。

2 業務内容

2.1 計画準備

本業務の実施に当たり、事前に業務の目的及び内容を把握し、業務の手順及び実施に必要な事項を企画・立案した業務計画書を作成する。

2.2 資料収集整理

既存のため池台帳等を収集し、農業用ため池の基本情報、ため池の諸元、改修履歴、被災履歴等について整理する。また、下流域の背景とする大縮尺の地形図及び航空写真を収集整理する。

2.3 ため池マップ作成

収集した資料に基づき、ため池マップを作成する。

ため池マップには農業用ため池の基本情報(名称、所在地、総貯水量、緊急連絡先)を表示するものとする。但し、個人情報保護の観点から、個々のため池の管理者情報は表示せず、これに代えて、勝浦町建設課の連絡先等を記載する。

ため池マップを表示する背景地図は、発注者が提供する地形図、またはオルソ空中写真画像等を利用する。

また、既存のため池台帳及び発注者からの聞き取りにより、緊急連絡網及び緊急連絡先一覧を作成する。

2.4 現地確認(浸水予想区域検討前)

ため池周辺及び氾濫原を対象に、現地確認を実施する。

現地確認では、ため池の諸元、形状、構造、周辺地形、氾濫原の地形等の状況確認を行い、破堤箇所、破堤条件等を決定するための基礎資料を作成する。

2.5 浸水予想区域の検討

氾濫シミュレーションソフトウェアによる氾濫解析を実施し、各地点の洪水到達時間や最大水深、最大流速等について検討する。

検討手順は次のとおりとする。

- ① 氾濫原地形モデル(メッシュデータ)の作成(新たに追加測量は行わない。)
- ② 氾濫水解析(シミュレーション計算)
- ③ 計算結果の図化(洪水到達時間、最大水深、最大流速)

2.6 現地確認(浸水予想区域検討後)

計算による洪水到達範囲及びその周辺について、現地確認を実施する。現地確認では、氾濫に影響を与える人工構造物(盛土構造物等)の確認を行う。

2.7 浸水想定区域図の作成

2.2、2.4～2.6 を基に、対象ため池下流域の浸水想定区域図を作成する。

浸水想定区域図には、浸水想定区域、歩行不可能区域、浸水深、洪水到達時間及び流速を表示するものとする。

浸水想定区域図を表示する背景地図は、発注者が提供する地形図、またはオルソ空中写真画像等を利用する。

2.8 報告書作成

上記作業の点検取りまとめを行い、報告書を作成する。

2.9 打合せ

打合せは着手、中間（1回）、最終時点において行うものとする。

3 成果品

区分	規格	部数	備考
業務報告書	A4	1	簡易製本・電子データ
印刷用データ (ため池マップ)	A3 PDF 形式	一式	
印刷用データ (浸水想定区域図)	A3 PDF 形式	一式	

なお、ため池の基本情報（緊急連絡先を除く）と浸水想定区域図については、シェープファイル等の GIS 上に掲載できるデータを提出するものとする